



モバイルモニター  
INVPM204/004



## ユーザーガイド

製品を使用する前に、このユーザーガイドをよくお読みください。

いつでも見ることができるよう

大切に保管してください。



アタプターサービスメール: [JPsupport@DesignInnoView.com](mailto:JPsupport@DesignInnoView.com)

このメールアドレスは、お客様の技術的な質問や製品に関する質問に、  
より専門的かつ迅速に回答することができます



# 🔍 目次

## ● 注意事項と付属品

- 注意事項 1P
- 付属品(梱包リスト)、スタンド 2P
- 本体各部説明 3P

## ● 操作方法

- 接続方法 4P
- 接続例 5-7P
- ボタン使用方法 7-8P
- メニュー 8-9P

## ● 操作問題

- よくある質問 10-11P
- FQA 12-13P

# 安全注意事項

人身事故や物的損害を防ぐために、まず、『安全注意事項』をよく読んで正しく使用している場合を理解してください。

## 警告



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

## 分解・修理・改造しない

火災・感電・破裂・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店またはアフターサービスにご相談ください。



## 眼を守るため以下を守る

液晶画面を見る作業を続けるときは、画面の明るさと周囲の明るさの差をできるだけ小さくして作業してください。また、連続して作業を続けるときは、1時間に10～15分程度の休憩をとってください。

## 磁気に弱いものを近づけない

付属のスタンドカバーには磁石が使われています。磁気カードなどは記録が消えることがあります。コンピューターのハードディスクなども影響を受ける可能性があります。

## 異常・故障時は直ちに電源を抜く

### 【異常例】

- ・発煙・発熱した
- ・異臭がする
- ・水や異物が内部に入った

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。アフターサービスにご連絡ください。



## 使用注意事項

液晶パネルについて

...あります。これは液晶パネルの物理欠点なので、故障ではありません。点の数が三つ以上であれば、アフターサービスへご相談ください。

・見る角度や温度変化によって、色むらや明るさのむらが見えることがあります。故障ではありません。

・液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。

・液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画面が暗くなるようになったら、アフターサービスへご相談ください。

・同じ画面を長時間表示していると、画面の焼き付きを起こすことがあります。パソコンやモニターを使わないときは電源を切ってください。

## ● 破損に注意

・強く押ししたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたり、固いものをぶつけたりしないでください。

・輸送するときや保管するときは、強い力がかからないようにしてください。

## ● 設置に注意

・机の端など、落下しやすい場所に設置しないでください。

・接続コードに手足を引っ掛けないように、注意して配線してください。

## ● 接続に注意

・接続端子は、斜めや裏返しにならないように注意し、無理な力をかけないで、確実に差し込んでください。無理な力をかけて差し込むと、端子が破損するおそれがあります。

・まちがった接続端子を無理に差し込まないでください。端子が破損するおそれがあります。

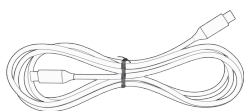
## ● 次のような場所で使用しない・保管しない

## 故障するおそれがあります。

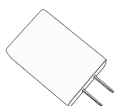
・油煙やほこりなどの舞う場所

・温度・湿度の高いところ

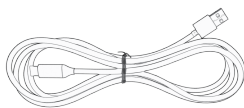
# 梱包リスト



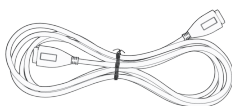
USB-C to USB-C



アダプター



USB-C to USB-C



HDMI to Mini HDMI

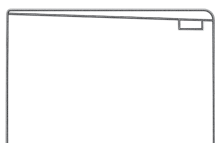


USB-A to MicroUSBメス(204)

USB-A to USB-Cメス(004)



クリーニングクロス



フェルトバッグ



保修書

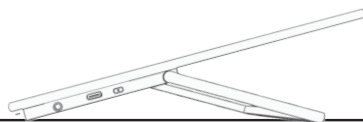


説明書



クイックガイド

0°



180°

支架使用展示

0°

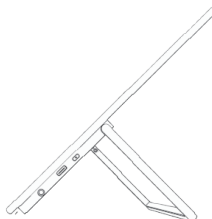


30°

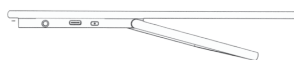


手で開く

90°



120°



180°



# 本体各部説明 ▼

(回転してご覧ください)

## USB-C入力端子 (x2)

ビデオとオーディオを入力し、電源を供給することができます

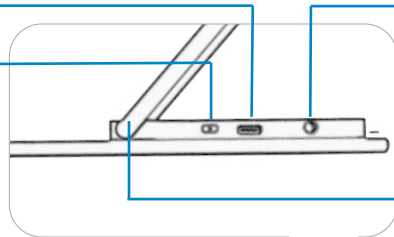
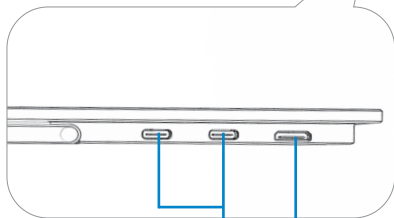
OTG入力端子  
(204:MicroUSB/004:USB-C)  
マウスなどに直接接続できます

## 電源ボタン

5秒ぐらい長い押し続けると電源がオン/オフになります  
メニューが表示されているときに押すとメニュー項目が左に移動します

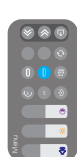


電源禁止!



## メニューボタン

2本指のドロップダウンメニュー



## ゴム足

滑り止めで、立ち設置がより安定させます

## スピーカー

オーディオを再生できます

## スタンド

180度回転  
画面の傾斜角度を調整できます

## ミニHDMI入力端子

HDMIケーブルを使用してビデオとオーディオを入力できます

この端子は電源転送できませんので、接続時電源をtype C 端子で入力する事を必要です

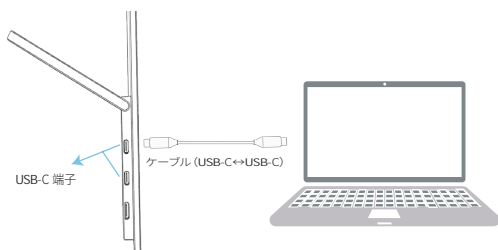
## ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続して、  
ヘッドホンで音を聴くことが  
できます。

# 接続方法

## USB-Cケーブルで接続

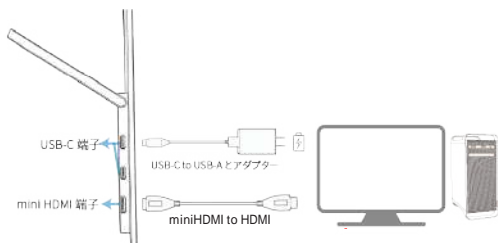
- 映像信号の出力に対応しているUSB-C端子を備えた機器と付属のUSB-C⇔USB-Cケーブルで接続すると、映像・音声を入力することができます。また、電源も供給することができます。
- USB-C接続による映像出力対応機器については、接続例(→P5~6)やyoutube公式動画サイトをご覧ください。



- 接続した機器のUSB-C端子から十分な電源が供給されない場合は、付属のUSBケーブル(USB-C⇔USB-C)で接続して電源を供給してください。USB充電器(推奨2.4A以上)

## HDMIケーブルで接続

- USB-Cケーブルで映像を出力できない機器とは、付属のHDMIケーブルで接続してください。
- HDMIケーブルで接続した場合は、映像・音声のケーブルとは別にもう1本付属のUSBケーブル(USB-C⇔USB-C)で接続して電源を供給してください。USB充電器(推奨2.4A以上)



## ヘッドホンで音声を聴く

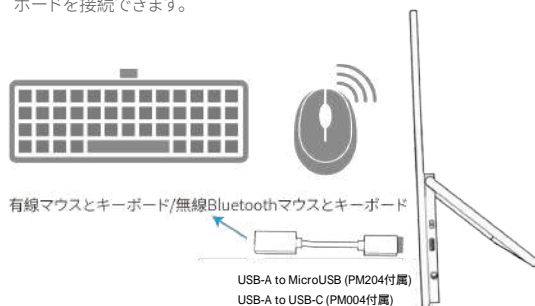
- お手持ちのヘッドホンのプラグを接続して、ヘッドホンで音声を聴くことができます。
- ※ヘッドホン端子に接続すると、本体のスピーカーから音声は出力されません。
- ※パソコンと繋げる場合、「Innoview」の文字が書かれたオーディオトラックを選択して出力してください



## OTGを使用したマウスの接続

- PM204: マウスをMicroUSB⇔USB-Cメス(付属)を介してOTG入力端子(USB-C)に接続します。
- PM004: マウスをUSB-A⇔USB-Aメス(付属)を介してOTG入力端子(USB-C)に接続します。

有線マウスキーボードまたはワイヤレスBluetoothマウスキーボードを接続できます。



# 接続例

## コンピューター/ ノートパソコン-HDMI接続

ステップ1:HDMI to mini HDMIでコンピューターがモバイルモニターと接続します。

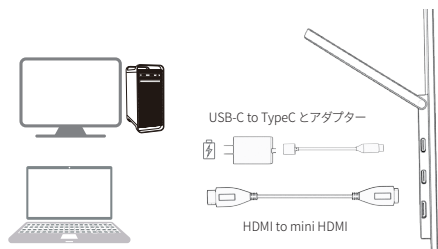
ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cで電源を接続します。

ステップ3:複製、拡張、およびセカンドスクリーンを設定します。



ビデオ演示

\*タッチ機能はもう一本のUSB-A to USB-Cケーブルが必要となります。



## コンピューター/ ノートパソコン-USB-C接続

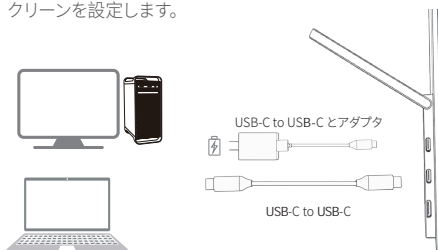
ステップ1:USB-C to USB-Cでパソコンがモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-A to USB-Cで電源を接続します。

ステップ3:複製、拡張、およびセカンドスクリーンを設定します。



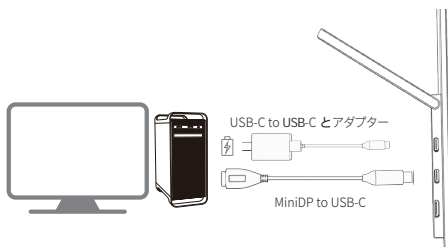
ビデオ演示



## MiniDPで接続

ステップ1:miniDP to USB-Cでパソコンがモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cで電源を接続します。



注意:双方向のデータ転送機能が搭載したminiDP to USB-Cケーブルは必要です。

## ゲーム機

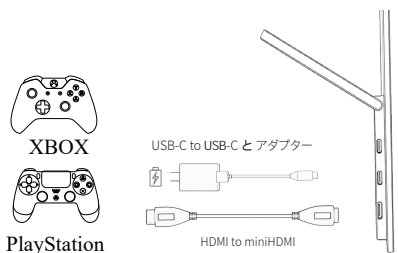
XBOX、PS4、PS5、Switch (ドック接続) など、HDMI出力機種

ステップ1:HDMI to mini HDMIでゲーム機がモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cで電源を接続します。



ビデオ演示



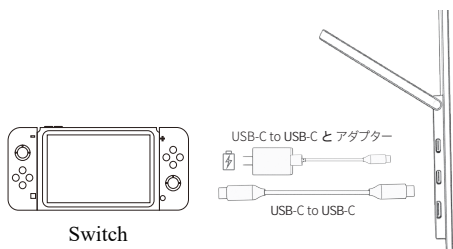
## SwitchなどUSB-C出力機種

ステップ1:USB-C to USB-Cでゲーム機がモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cで電源を接続します。



ビデオ演示



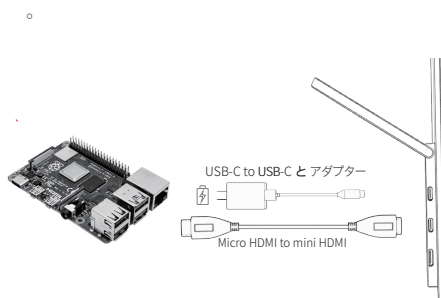
Switch

**注:USB-Cで接続する時、Switch純正アダプターでモバイルモニターに給電してください。**

## ラズベリーパイ

ステップ1:Micro HDMI to miniHDMIでラズベリーパイがモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cとアダプターで電源を接続します。



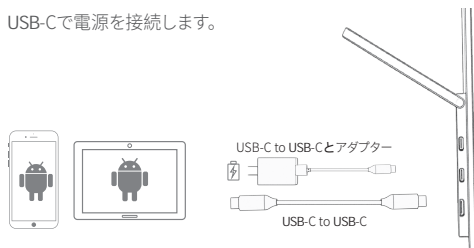
## スマホとタブレット

ステップ1:USB-C to USB-Cでスマホまたタブレットがモバイルモニターと接続します。

ステップ2:モバイルモニターはUSB-C to USB-Cで電源を接続します。



ビデオ演示



**対応機種  
(詳しくアフターサービスまでご連絡ください。)**

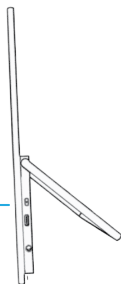


# ボタン使用方法 ▼

## 電源オン/オフ

- 電源ボタンを5秒長押しするとオン/オフになります。
- 電源が入ると、OTGポートが点灯します。

1-長押し



## 電源ボタンでメニューオン/オフ

- 電源ボタンを一回押すと、メニューが開きます。
- メニュー状態で、電源ボタンを一回押すとメニューを閉じます。

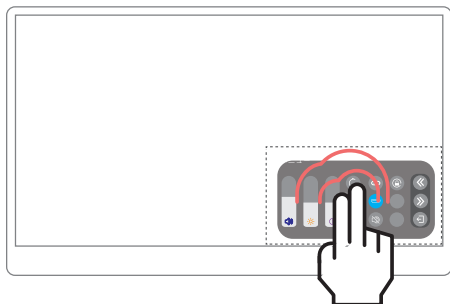


一回押す



## タッチでメニューオン/オフ

- 2本の指で画面の右下隅（点線の枠内）に下にスライドすると、メニューが開きます。
- メニュー状態で、2本の指で画面の右下隅（点線の枠内）に下にスライドすると、メニューを閉じます。

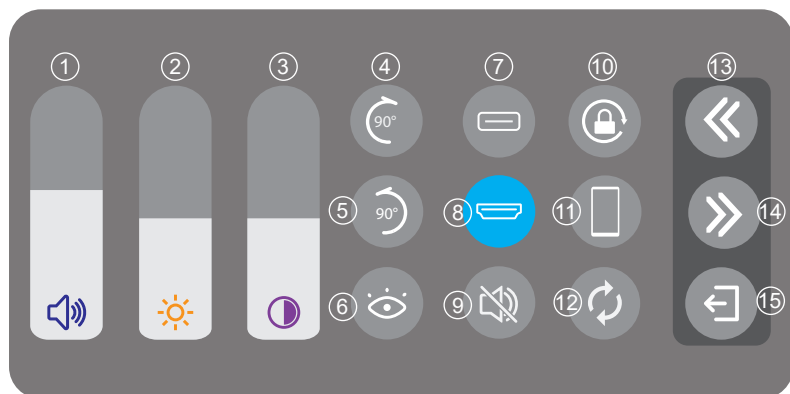


## メンテナンス

- 化学そうきんは使用しないでください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めることがあります。付属のクリーニングクロスで拭いてください。



汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞って拭き、拭いた後は乾拭きしてください。



- ① 音量:音量を調整します。調整範囲0-100。
- ② 明るさ:画面の輝度を調整します。調整範囲0-100。
- ③ 色相:画像の色相を調整します。調整範囲0-100。
- ④ 時計回り90°:画面が時計回り90度に回転します。
- ⑤ 反時計回り90°:画面が反時計回り90度に回転します。
- ⑥ 低ブルーライト:ディスプレイ画面の低青色光モードに切り替えます。  
低ブルーライトが起動した時、ECOモードとHDRも調整できません。  
ご注意ください。
- ⑦ USB-C:USB-C信号ソースに切り替えます。
- ⑧ HDMI:HDMI信号ソースに切り替えます。
- ⑨ マナーモード:マナーモードをオン/オフに切り替えます。
- ⑩ 回転ロック:重力回転をロックします。
- ⑪ 全画面表示:全画面で表示に切り替えます。
- ⑫ リセット:初期設定に戻ります。
- ⑬ 前のページ:前のページに切り替えます。
- ⑭ 次のページ:次のページに切り替えます。
- ⑮ メニュー終了:メニューを終了にします。



**HDR:**① HDRモードをオンにします;

② HDRモードをオフにします;

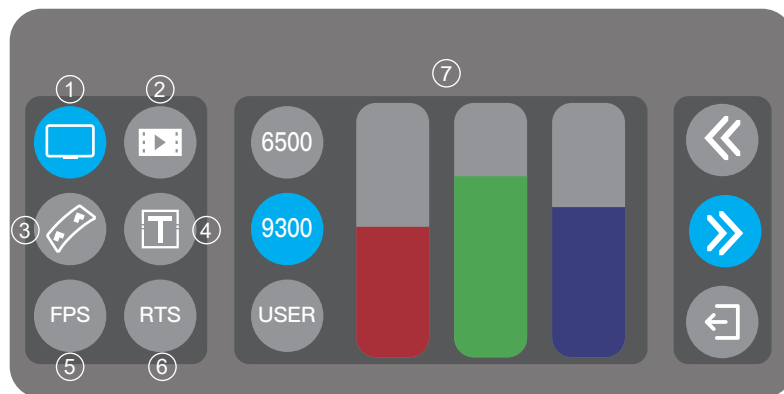
③ HDRモードを自動にします;

**LANGUAGE:**④ 中文;⑤ English;⑥ Deutsch;⑦ French;⑧ 한국어;⑨ 日本語;

⑩ Mac:Mac接続時のタッチ機能を最適化します;

⑪ FreeSync:FreeSyncモードをオン/オフに切り替えます;

⑫ OD:リフレッシュレートを上げます;



**ECO:**① 初期モード;

② 映画モード; ④ 写真モード;

③ / ⑤ / ⑥ ゲームモード;

**Color Temp:**⑦ 色温度:画面表示の色温度モードを調整します。

6500K、9300K、USER(赤 / 緑 / 青 (各0-100))

初期モード以外、他のモードで、明るさと色相が調整できない、HDRも調整できません。  
ご注意ください。

# よくある質問 ▼

## ● 電源ボタンを押しても、電源ランプが点灯しない

**原因1:** 電源を入れません。

**解決案:** 本機に電源を供給するには、接続する機器のUSB-C端子またはUSB-A端子から、本機のUSB-C端子に接続されている必要があります。

● HDMI端子から信号を入力している場合でも、USB-C端子に接続してください。(→P4)

**原因2:** 接続した電源が低い

**解決案:** 市販のUSB充電器(2.4以上推奨)を使用して、本機のUSB-C端子に接続してください。

## ● 信号なし(画面が映らない)

**原因1:** 映像信号が入力されていない

**解決案1:** 接続した機器の電源を入れてください。

**解決案2:** 接続した機器から、本機に接続したケーブルに映像が出力されるように設定してください。(接続している機器のマルチディスプレイの設定などで、本機にも表示するように設定してください。)

**原因2:** USB-C端子から映像信号を出力しない機器と、USB-Cケーブルで接続した

**解決案1:** USB-C端子から映像信号を出力しない機器の場合は、HDMI端子があるときは、HDMIケーブルも接続してください。

**解決案2:** 他に端子がない場合は、本機では映像を表示できません。

## ● 映像が表示されない

**原因:** 電源が入っていない

**解決案:** 電源を入れてください。(→P7)

## ● 画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある

**原因:** 液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠け(物理欠点)や常時点灯する画素(輝点)がある場合があります。

**解決案:** 故障ではありません。

## ● 画面が暗い

**原因:**明るさが調整されていない

**解決案:**「明るさ」の調節をしてください。(→P6)

---

## ● 色あいが悪い、色が薄い

**原因:**色の濃さ、色あいが正しく調整されていない

**解決案:**メニューの「明るさ／コントラスト」や「色調整」の項目を調整してください。(→P7)

---

## ● スピーカーから音声が聴こえない

**原因:**ミュートがオンになっている

**解決案:**メニューの「音声設定」の「ミュート」をオフにしてください。(→P7)

---

## ● 音量を調節してもスピーカーから音声が聴こえない

**原因1:**接続している機器の音量が低い

**解決案:**接続している機器の音量を適切に設定してください。

**原因2:**ヘッドホンが接続されている

**解決案:**スピーカーから音声を出力するためには、ヘッドホンを外してください。(→P4)



ご使用中に問題が発生した場合は、本マニュアルをよくお読みになり、  
修理を依頼する前に以上の点を確認してください。

以上に載せていない問題があったら、ご遠慮なく、カスタマーサービス  
(日本語) [JPsupport@designinnoview.com](mailto:JPsupport@designinnoview.com) までお問い合わせください。



**Q:**パソコンに2台のサブモニターを使用して3つの画面に拡張できますか？

**A:**できます。ただし、2台のサブモニターを同時に接続する場合は、消費電力を満たすために、モニターに同時に電力を供給する必要があることに注意してください。

**Q:**モバイルバッテリーで給電して使用できますか？

**A:**できます。モニターに電力を供給するために、PDプロトコルを備えたモバイルバッテリーを購入する必要があります。

**Q:**どうやってスマホをPCモードに切り替えますか？

**A:**現在AndroidスマホのみがPCモードに切り替えることができます。たとえば、SamsungスマホをUSB-Cケーブルでモニターに接続した後、スマホの画面の上から指で下にスライドし、[設定]-[高級機能]-[Samsung-Dex]をクリックして切り替えます。

**Q:**USB-Cケーブル一本で接続したときにモニターの明るさが30%しかないのはなぜですか？

**A:**デバイスによって電源が異なります。起動輝度が100%に保証できません。電源が足りない場合は、節電モードに入って、明るさが30%で起動します。

**Q:**コンピューターまたはパソコンを接続するときに、画面をどうやって拡張しますか？

**A:**Windowsシステムの場合は、Windowsショートカットキー+Pを同時に直接押すことができます。デスクトップには、拡張、複製、セカンド画面のみ、オプションが表示されます。  
MACBOOKの場合は、システム-表示設定-ミラーリングで設定できます。

**Q:**どうやって縦モードになりますか？

**A:** このモニターは重力センサーを搭載し、モニターが縦になると縦モードになります。  
PCに関する  
重力センサーをロックしてコンピューターの画面設定で縦モードに調整できます。  
マウスの右ボタン ディスプレイ設定  
innoviewディスプレイを選択 ディスプレイの向き 縦向き。

**Q:**なぜ明るさを調整できません？

**A:** :モニターには、標準、ムービー、ゲーム、写真などのさまざまなプリセットモードが用意されています。標準モードは、明るさを自由に調整でき、その他のモードはプリセットに応じて表示され、自由調整できません。

**Q:**明るさなどの設定を変更した後、電源を切ったり、電源コード(USB-C)を抜いても設定は保存されますか？

**A:** :はい、保存します。次回電源を入れる時に設定値を戻します。電源が接続されていない場合、接続されているデバイスの電力が不足しており、強制的に省電力モードになります。

**Q:**HDMIケーブルを使用してモニターを接続すると、モニター画面がちらつくのはなぜですか？画面はロゴで点滅し続けます？

**A:** モニター右側のUSB-Cに電源を指した後、画面がロゴで点滅し続けます。左側のUSB-Cでモニターに電力してください(電力を供給し、データを転送することができます)。

**Q:**HDMIケーブルで接続する時、なぜタッチ操作が使用できません。

**A:** HDMIケーブルはビデオと音声データしか転送できません。タッチデータが転送できません。もう一本のUSB-A to USB-Cケーブルが接続する必要があります。

**Q:**iPhoneのモニターとして使用したいですが、どうやって接続しますか？

**A:** Lightning - HDMIアダプターが必要です。Mini HDMI to HDMIケーブルで接続すれば、画面が映せます。モニターに給電が必要です。接続方法が以下のビデオ演示を参考してください。



ビデオ演示

**Q:**ディスプレイでタッチを使っていますが、なぜノートパソコンに表示されるのでしょうか。

**A:** パソコンはタッチ画面が認識していない為、モニターがタッチ板として使用されています。

解決案:

- 1-コントロールパネルをクリックする
- 2-タブレットPC設定をクリックする
- 3-セットアップをクリックする
- 4-指示通りにEnterを押す
- 5-対応モニターに指でタッチして、次の画面に調整する
- 6-すべての画面が設定した後、Escを押す、設定完了



ビデオ演示

**Q:**Macbook proまたはMacbook airでタッチ機能は使用できますか？

**A:** Macbookのシステムに外部のモニターにタッチ設定がありません。タッチパネルモニターでもタッチ機能が通常に使用できません。タッチ板として認識されます。

**Q:**パッケージに同梱されているケーブルを使用せずにモニタを接続することはできますか。

**A:** ディスプレイには最大30Wの電力が必要ですが、ケーブルも十分な伝送速度と帯域幅を達成する必要があります。ご使用のアダプターとケーブルが当社の規格に達していない場合、電力が不足したり、画面を表示できない現象が発生する可能性があります。ご使用が正常に使用できるように、付属のケーブルとアダプターを接続してください。

以上に記載していない問題があったら、ご遠慮なく、カスタマーサービス  
(日本語) [JPsupport@designinnoview.com](mailto:JPsupport@designinnoview.com) までお問い合わせください。

# アフターサービス



**12ヶ月保証**  
(保証延長が申し込める)



**終身サポート**  
(製品問題)

**JPsupport@designinnoview.com。**



**Youtube**

さまざまなモデルの接続方法を  
迅速かつ簡単に調べられます



**Facebook**

お客様の疑問がより早く解決できます

©Innoview Corp.

ShenZhen YingChuang Technology Co., Ltd.

Address: f1f3-101-201 f2-301, Tianyou Chuangke Industrial Park, No. 2, Lixin Rd,

Ba'an ShenZhen, China

Made in China



This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.